

かごしま 市議会だより

2022 No.356

令和4年2月1日
第4回定例会号

第4回定例会

第六次鹿児島市総合計画基本構想議案を可決 令和2年度決算を認定



新南部清掃工場

個人質疑から	2～4面
令和2年度決算審査から	4面
クローズアップ	4面
第六次総合計画基本構想審査特別 委員会の審査内容	5面
議案に対する各会派等の表決態度	6面

市議会だよりに関する意見募集

○市議会だよりに関する市民の皆さまのご意見を募集します。

○パソコン、スマートフォン等の方は、市議会ホームページか右記の送信フォーム(二次元コード)、メール(seimuchousa@city.kagoshima.lg.jp)でお寄せください。



送信フォーム

○郵送の方は、〒892-8677 山下町11-1 政務調査課宛にお寄せください。

編集・発行／鹿児島市議会

☎099-224-1111(市役所代表)

☎099-216-1454(政務調査課直通)

<鹿児島市議会ホームページアドレス>

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/gikai/index.html>



令和3年第4回定例会は、11月30日から12月17日までの18日間にわたって開かれ、閉会中の継続審査の取り扱いとなっていた「第六次鹿児島市総合計画基本構想を定める件」のほか、令和2年度一般会計、特別会計および企業会計の決算関係議案15件を議決しました。

また、天文館図書館など27施設の「公の施設の指定管理者の指定に関する件」や一般会計補正予算など議案26件を議決しました。

【議決された主な議案の要旨】

▼第六次鹿児島市総合計画基本構想を定める件

・総合的かつ計画的な市政の運営を図るため、第六次鹿児島市総合計画基本構想を定めるについて、議会の議決を求めるもの

▼公の施設の指定管理者の指定に関する件(12件)

《指定管理者を指定する27施設》

天文館図書館、高齢者福祉センター(与次郎・東校島・谷山・桜島・郡山・吉野・伊敷)、喜入老人憩の家、すこやかランド石坂の里、吉田福祉センター、西部親子つどいの広場、鴨池公園野球場・広場・テニスコート、鴨池公園多目的屋内運動場、スパランド裸・楽・良、郡山体育館、郡山総合運動場、郡山早馬球技場、郡山花尾運動場、東開庭球場、市営自転車等駐車場(中央駅東口・中央駅西口・東干石・山之口・中町)

▼令和3年度鹿児島市一般会計補正予算(第9号)

◎主な内容

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業
- ・千日町1・4番街区再開発ビル保留床取得支援事業
- ▼令和3年度鹿児島市一般会計補正予算(第10号)
- ・子育て世帯への臨時特別給付(先行給付金)事業
- ▼令和3年度鹿児島市一般会計補正予算(第11号)
- ・子育て世帯への臨時特別給付事業
- ▼鹿児島市過疎地域持続的発展計画の策定に関する件
- ・鹿児島市過疎地域持続的発展計画を定めるについて、議会の議決を求めるもの
- ▼固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件
- ・小福田 博氏

個人質疑から

第4回定例会では15人の議員が個人質疑を行いました。その中から一部を紹介し
ます。

質疑者は次のとおりです。

- | | | |
|------------------|-----------------|---------------------|
| こじま洋子議員(公明党) | のぐち英一郎議員(無所属) | 園山えり議員(日本共産党) |
| 小川みさ子議員(無所属) | 柿元一雄議員(自由民主党) | たてやま清隆議員(日本共産党) |
| まつお晴代議員(立憲フォーラム) | 中元かつあき議員(自由民主党) | 森山きよみ議員(社民・市民フォーラム) |
| 大園たつや議員(日本共産党) | 大園盛仁議員(無所属) | 瀬戸山つよし議員(自由民主党) |
| 平山哲議員(自由民主党) | 米山たいすけ議員(市民連合) | 伊地知紘徳議員(市民連合) |

(掲載記事は質疑順ではありません。)

インターネット放映
(アクセス方法)
市議会トップページ
→ インターネット議会中継録画



企画・財政

市長就任後の市政運営の 自己評価

問 市長就任後、約1年間の市政運営をマニフェスト等に照らし、どのように自己評価しているか。

答 市長就任直後から、マニフェストも踏まえ、今後10年間のまちづくりの基本的な指針となる第六次総合計画の策定を進めるとともに、令和3年度当初予算にも関連の施策を可能な限り盛り込み、その着実な実施に向けて鋭意取り組んできたところである。

特に、新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、その対応を最優先かつ最重要の課題として、市民の命を守り、市民生活や地域経済を支えるための各種取り組みなどを積極的に進め、市勢の発展と市民福祉の向上に全力を尽くしてきた。

本市の財政運営

問 本市の人口1人当たりの人件費・物件費等決算額、財政力指数、経常収支比率の推移と、中核市における順位の5年前との比較と評価、分析は。また、今後の財政運営に対する市長の見解は。

答 人口1人当たりの人件費・物件費等決算額は少ない一方で、中核市の上位に位置しているが、財政力指数は横ばい傾向で、経常収支比率は社会保障関係経費の増加等の影響で比率が上昇し、中核市における順位もそれぞれ低下していることから、厳しい財政状況にあると認識している。今後の財政運営については、予

断を許さない厳しい財政環境が見込まれることから、他都市の事例も踏まえつつ、各面からの財源確保や徹底した事務事業の峻別・見直し、データに基づく政策立案(EBPM)を進めるとともに、アフターコロナも見据える中で、長期的な視点に立った持続的で健全な財政運営に努めていきたいと考えている。

SDGs目標12に関連した本市の対応

問 SDGs目標12「つくる責任つかう責任」にひもづけられたターゲットには、再利用による廃棄物の削減が明記されており、行政が中古物品を購入することは整合性があると考えられるが見解は。

答 SDGs目標12に掲げられている「持続可能な生産消費形態を確保する」ことは大変重要なことであると考えている。その中のターゲットとして、「リサイクルおよびリユースにより廃棄物の排出量を大幅に削減する」があり、行政が中古物品を調達することはこれに整合するものと考えている。本市で調達する物品にはさまざまなものがあり、再生紙などリサイクル製品については積極的に導入するとともに、パソコンなどのリユース品についても活用を図っているところである。



SDGs目標12のアイコン

また、一定額以上の物品調達は契約課を通じたものとなり、競争性を持たせる必要があることから、

観光・スポーツ

鹿児島港本港区エリアの再開発

一般的な中古物品の取り扱いについてはクリアすべき課題があるが、どのような取り組みができるか研究を進めていきたいと考えている。

問 県総合体育館の整備候補地について、県の総合体育館基本構想検討委員会が鹿児島港本港区エリアのドルフィンポイント跡地と住吉町15番街区の2カ所を一体的に整備することを決定したとの発表を受けて市長の所感と今後への期待、覚悟は。

答 整備候補地については、同検討委員会としての現時点での検討結果が示されたものであると受け止めている。

サッカー等スタジアムや路面電車観光路線等の大型プロジェクトは、本市の将来のまちづくりにとって重要な事業であり、県都としてのにぎわいの創出や魅力ある都市空間の形成、ひいては郷土鹿児島島の発展につながるものと考えていることから、今後も引き続き県と緊密に連携を図りながら取り組んでいきたいと考えている。中でもサッカー等スタジアムは、



ドルフィンポイント跡地

本市がスポーツを通じたまちづくりを進める上で核となる大変重要な施設であることから、実現に向けて県をはじめ関係団体等と連携し、オール鹿児島での取り組みを進めていきたいと考えている。

平川動物公園コアラ舎のリニューアルとコアラの種の保存

問 令和3年3月の平川動物公園コアラ舎リニューアルオープンの効果とコアラへの影響は。また、コアラの種の保存に対する市長の見解と今後の取り組みは。

答 リニューアルにより、自然光や外気を多く取り入れ、ユウカリ等の自然木を植えるなど自然に近い環境となっている。コアラは、当初新しい飼育環境に緊張した様子も見られたが、現在は2頭の新しい個体も生まれるなど、落ち着いた状況にある。



リニューアルしたコアラ舎

同園のコアラは、一時期飼育頭数が減少したこともあったが、園内の動物園とのブリーディングプログラムやオーストラリアからの新規個体導入などにより、現在は国内最多の14頭を飼育している。今後、最も安定的にコアラを飼育するため、最適な飼育環境を維持していくとともに、新規個体の導入や人工繁殖に向けた取り組みなどを、引き続き関係団体とも連携しながら進めていきたいと考えている。

解説 ブリーディンググローン
希少な動物を絶やさず増やしていくために、動物園や水族館同士で動物を貸したり借りたりする制度のこと。

健康・福祉

検診情報連携システム等整備事業

問 検診情報連携システムではどのような個人情報本人の同意と無関係に全国の自治体間で共有されるのか。また、本人が個人情報の取り扱いを確認・訂正する方法について、市民への周知広報が必要と考えるが見解は。

答 令和3年5月に健康増進法およびマイナンバー法が一部改正され、健康増進法に基づき自治体が行う、がん、骨粗しょう症および歯周疾患検診等の受診状況、精密検査の要否等、計114項目が情報連携の対象となった。

また、他自治体との情報連携の記録等は、マイナポータルや鹿児島市個人情報保護条例に基づく開示請求により確認が可能である。市が保有する検診等情報の利用停止、消去等の請求は情報の取得等に関する法令等の違反が思料される場合を除きできないが、内容に誤りがある場合は情報の訂正を請求することができる。情報連携の概要等は市民のひろばや市ホームページへの掲載のほか、検診受診時に周知を図っていききたいと考えている。



マイナポータルは、政府が運営するオンラインサービスです。

ワクチン接種後の副反応等への対応

問 新型コロナウイルスワクチン接種による副反応の相談件数と対応は。また、予防接種健康被害救済制度の予算の内容と、給付金が支給されるまでの手続きは。

答 接種後の副反応については、本市新型コロナウイルスセンターで令和3年11月末までに486件の相談を受けており、内容に応じて接種医療機関や県のコールセンターを案内している。また、健康被害が生じた場合は、救済制度の案内や申請受け付けを行うなどの対応をしている。

問 今回の補正予算では、今後起こり得る健康被害を想定し、死亡一時金や医療手当など9件分を計上している。本市では、健康被害を受けた方やその家族から必要書類を受領後、本市調査委員会での意見を付して県を通じて国へ進達し、国の審査会でワクチンによる健康被害であると認められた場合に給付金が支給されることとなる。

すこやか入浴事業の利用回数増の考え

問 すこやか入浴事業は、多くの方々に喜ばれており、現在の一人年30回を、月3回の年36回にしてほしいとの要望があるが、令和4年度から利用回数を年36回に増やせないか。

答 同事業は、高齢者の方々の健康づくりや生きがいづくりを促進する重要な施策の一つであり、利用回数については、平成6年度の事業創設時の年10回から、現在の年30回まで、段階的に増やしてきた経緯がある。利用回数を増やすことは現時点

では考えていないが、高齢者人口が増加する中、今後とも同事業が継続できるよう努めていきたいと考えている。



魚類市場の活性化に向けた輸出促進策

問 魚類市場の取扱数量等が年々減少している中、市場の活性化のために輸出促進に取り組みしているが、想定する輸出事業と取り扱う魚種に対する考え方は。また、今後の取り組みは。

答 同市場の輸出拠点化により付加価値を高め、取扱数量増大等へつなげていくことを目的として、平成30年度に輸出拠点構築推進計画を策定し、計画の最終年度である令和7年度の輸出金額目標を12億6千万円としている。取り扱う魚種は、同市場の特色でもある多種多様な鮮魚の中から、輸出先のニーズに合わせ輸出に取り組み各事業者が選定している。

これまでオンライン商談等により、商材の売り込みを行っているところであり、今後、社会経済状況を踏まえ、市場関係者で構成する魚類市場輸出促進協議会を中心に取り組んでいく。



魚類市場の多種多様な鮮魚

環境

低周波音問題

問 環境省によると低周波音に関する相談件数が増加傾向にあるとされているが、低周波音の定義と人体に与える影響、主な発生源は。また、発生源が特定できない低周波音について、本市に相談があった場合の解決に至るまでのサポート等の対応は。

答 国によると低周波音とは、概ね1ヘルツから100ヘルツの音を指すもので、不快感や圧迫感などの心身に係る影響を与える場合があり、大型の構造物や機械、施設などから発生しやすいとのことである。

本市に相談があった際は、受音者に対し、低周波音の発生時刻や影響の大小の記録、発生源と思われる施設等の動作状況との比較などの発生源を確認するために必要な助言を行う。発生源が事業者と考えられる場合は、発生源者に原因特定のための調査や測定に対する協力、特定された場合の対策の検討を依頼するなどのサポートができるものと考えている。

教育

特別支援教育の現状と課題

問 本市の特別支援学級数の推移と、支援を必要とする児童生徒がこの10年間で大幅に増加した背景や要因、増加ペースに対する見解は。また、現状を総合的に分析し、今後の計画を策定することが急務と考えるが見解は。

答 令和3年7月から8月にかけて点検を行った土捨て場は33カ所、そのうち5カ所が盛り土のり面の変状や排水施設の不良などの不具合等を確認したことから、改善を指導し、同年11月末現在、一部においては完了したところである。

答 同学級数は、平成24、29、令和3年度の順に、小学校141、245、360学級、中学校62、80、103学級である。増加の要因としては、特別支援教育についての理解が進み、その教育効果を期待する保護者等が増えたためであるとされており、今後も増加することが見込まれる。

まずは、特別支援教育支援員の計画的な増員に努め、就学教育相談の充実や就学の判断の在り方等について研究するとともに、関係部局や障害児通所支援事業所等との連携の充実も図っていく。

解説 特別支援学級 小学校、中学校等において、障害のある児童生徒に対し、障害による学習上または生活上の困難を克服するために設置される学級のこと。

まちづくり

盛土造成地等の課題と対応

問 熱海市土石流災害を踏まえ実施した大規模盛土造成地等の点検結果について、条例に基づく届出があった土捨て場の数、そのうち不具合等が確認された数と内容、本市の対応と改善状況は。また、国や静岡県による災害防止や規制強化の動きと本市条例に与える影響は。

国の検討会においては、危険な盛り土を防止するための仕組みの在り方等について議論がなされており、静岡県においては、罰則の引き上げや一定規模以上の盛り土の許可制への変更などを盛り込んだ条例の制定を予定している。本市としては、引き続き、国や県の動向を注視していきたいと考えている。

公営企業

交通事業経営計画の見直し

問 令和4年度に予定していた見直しを3年度に前倒しした鹿児島市交通事業経営計画の具体的な見直し内容と増収対策の取り組みは。また、路線移譲の効果の分析は。

答 バス路線やダイヤは、コロナ禍の影響と鹿児島駅前広場の供用開始等に伴い、減便を含む見直しを4年4月1日に実施することとしている。見直しにあたってはIC乗車カードの乗降データや営業係数等を分析し、利用者への影響ができるだけ小さくなるよう配慮し進めていく。運賃は、事業の効率化と経費節減を徹底的に進めた段階で、毎年度の収支や資金状況を踏まえ、必要な場合に他の公共交通機関の動向や公共交通政策等も総合的に勘案し具体的に検討する。増収対策は、利用者の増に向けてSNSなど多様な媒体での情報発信などに取り組むとともに、電停ネーミングライツの導入など広告収入の拡大を図りたいと考えている。

また、路線移譲の効果は、人件費の削減などにより2年度で赤字が約5億円圧縮されたと試算している。

桜島フェリーの課題と増収対策

問 桜島フェリー利用者の動向、意向等から見える課題は。令和5年度のダイヤ改正をめどに減便との報道があったが、減便による影響と今後の方針決定プロセスは。また、増収を図るための施策は。

答 桜島・大隅地域の人口減少や東九州自動車道延伸等に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により旅客・車両ともに大幅に減少し、厳しい経営状況にあり財政健全化が喫緊の課題とされている。また、利用者からは「地域に配慮した割引運賃を」、「通勤、通学の時間帯に合わせた運航ダイヤを」などの声があるところである。減便により燃料費等の経費削減が見込まれる一方、一部利用者への影響が懸念されることから、現在策定中の次期経営計画で、運航体制の見直し等を盛り込み、経営状況や輸送量等を踏まえ、利用者サービスに配慮し需要に応じた運航ダイヤを検討していきたい。

また、増収対策としては、関係部局等と緊密に連携し、各種イベント等での利用促進、修学旅行誘致の強化、SNSによる情報発信など誘客増に努めていきたいと考えている。



桜島港フェリーターミナル

選挙

投票率向上のための取り組み

問 投票率向上のための若者を対象とした事例や、令和3年10月の衆議選におけるSNS活用など、これまでの取り組みについての効果と課題は。

答 若者を対象としたこれまでの事例としては、小学校、中学校、高校等における選挙の出前授業の実施や大学、短大、専門学校等を訪問しての投票参加の呼び掛け、同年代で構成される選挙コンシェルジュ鹿児島を活用しての啓発活動、若者と政治を語る会の開催などがある。

また、今回の衆議選では、市の公式ツイッターやフェイスブックにより、10月29日に1回、投票の呼び掛けと期日前投票のお知らせを行った。

選挙の出前授業や学校訪問による啓発活動などにより、選挙に接する機会をすることで一定の効果を上げつつあるが、若者はSNSと接する機会が多いことなどを踏まえ、啓発活動がより効果的なものとなるよう工夫を重ねていく必要があると考えている。



小学校での模擬投票の様子

令和2年度 決算審査から

団地再生推進事業

問 団地再生推進事業について、令和2年度に、市民・事業者等との協働の下、団地の活性化に向けた基本的な考え方や取り組み方針などを取りまとめた「かごしま団地みらい創造プラン」を策定しているが、対象の29団地に先行して平成30年度からワークショップを行った伊敷、西郷、皇徳寺の各団地における取り組み内容は。

答 各団地においては、令和2年度、キッチンカーによる食事の提供や高齢者のために製作したベンチを福祉館等に寄贈する「ベンチ作りワークショップ」の開催などが行われた。なお、3年度は、これまでの取り組みに加え、空き家を活用した交流拠点づくりに取り組むなど、にぎわい創出に向けたイベント等の開催から各団地の課題解決に向けた取り組みに移行しつつあると考えている。



ベンチ作りワークショップの様子

問 同プランにおける取り組みを対象団地において展開し、持続していくためには、行政による支援も必要ではないかと考えるが見解は。

答 同プランは、地域のにぎわい創出やさまざまな課題を住民主体

で解決していく体制を目指しており、2年度の取り組みを踏まえ、3年度は、29団地において意見交換等を開始し、まちづくり活動や新たなリーダーの育成などへの支援を行っている。今後においても、団地の活性化に向け、意見交換等を進める中で、必要な支援を行っていきたいと考えている。

病院事業特別会計決算と今後の病院経営の考え方

問 令和2年度の病院事業特別会計決算は、元年度を大きく上回る純損失となっているが、新型コロナウイルス感染症の影響を含めた要因は。

答 2年度は最新の高度医療機器の導入など医療機能の強化や診療体制の充実を図るとともに、地域医療機関とのさらなる連携に取り組んだ。特に感染症への対応として医療スタッフの体制や検査機器等の整備を行い県内の中等症および重症の患者を積極的に受け入れるなど重点医療機関としての役割を果たしてきたが、経営面は同感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言等により入院・外来の延べ患者数が合計で前年度比2万4千3人の減となるなど大きな影響を受け9億2424万3千円の純損失となった。

今後の病院経営に当たる基本的な考え方は。

答 同感染症等の現下の課題解決と多様化する医療ニーズや医療の進歩に対応し、高度急性期、急性期中核的医療機関としての役割を果たしていくため、次期経営計画のほか、高度・専門医療の提供を旨とした再整備計画の策定を進めている。今後とも健全経営を維持しながら安心安全で質の高い医療を提供し、市民の命を守る最後のとりでとして市民に信頼される病院の実現を目指していきたいと考えている。

クローズアップ!!! Close Up

決算審査とは？



鹿児島市議会では、例年、第3回定例会において前年度の決算議案を審査するため「決算特別委員会」を設置し、閉会中に審査を行い、第4回定例会において同委員会から審査結果の報告を受け、議決を行っています。（病院・交通・水道・船舶の4つの公営企業会計関係の決算議案については、所管の常任委員会である「産業観光企業委員会」で審査を行います。）

令和2年度一般会計、特別会計および公営企業会計関係の決算議案15件については、令和3年第4回定例会において、いずれも認定・可決しました。

鹿児島市議会における決算議案の議決までの流れ

令和2年度決算の状況

- 第3回定例会 本会議**
- ①市長から一般会計、特別会計および公営企業会計関係の決算議案が提出され、提案理由が説明されます。
 - ②決算議案について質疑を行います。
 - ③決算議案を審査するため、**決算特別委員会**を設置し、委員の選任を行います。
 - ④一般会計・特別会計の決算議案を**決算特別委員会**に、公営企業会計関係の決算議案を**産業観光企業委員会**に付託します。
 - ⑤決算議案を閉会中の継続審査とすることを決定します。

決算特別委員会には一般会計歳入歳出決算、国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算等の9議案を付託しました。

産業観光企業委員会には病院事業特別会計決算、交通事業特別会計決算等の6議案を付託しました。

- 閉会中**
- ⑥**決算特別委員会**、**産業観光企業委員会**において詳細な審査を行います。

令和3年11月4日から**決算特別委員会**は17日まで、**産業観光企業委員会**は9日まで、関係部局より説明を受け、審査を行いました。

- 第4回定例会 本会議**
- ⑦委員会での審査経過と結果を各委員長が報告します。
 - ⑧議員が決算議案について賛成か反対かの意見を述べます。
 - ⑨決算議案に対する議会としての最終的な意思を決定します。

各会派等の表決態度、議決結果は6面をご覧ください。

審査の経過

令和3年第3回定例会において、第六次総合計画基本構想審査特別委員会に審査を付託し、継続審査の取り扱いとなっていた「第42号議案 第六次鹿児島市総合計画基本構想を定める件」を、令和3年11月30日開会の第4回定例会において賛成多数で可決しました。

なお、同委員会では、同計画が将来における本市のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針であり、また、行財政運営を総合的かつ計画的に進めるための最上位計画となるも

のであることから、広く関係部局の出席を願う中で

- ・「第五次総合計画の総括」として、各施策の達成状況に加え、計画中もしくは未着手の事業の第六次総合計画での取り扱い等
 - ・「計画策定の趣旨・前提」として、本市が直面する課題や今後10年間における人口・財政の将来推計等
 - ・「前期基本計画（案）」として、基本目標別計画における基本的方向や施策の体系、目標指標等
- について順次整理するとともに、それらの議論を踏まえた上で、総括的に基本構想について審査を行いました。

基本構想の概要

《期間》

令和4年度～令和13年度（10年間）

《都市像》

総合計画期間内で目指す
将来のまちの姿

つながる人・まち 彩りあふれる 躍動都市・かごしま

《基本目標》

「都市像」を実現するための
6つの基本目標

信頼とやさしさのある
共創のまち
【信頼・共創 政策】

自然と都市が調和した
うおいのあるまち
【自然・環境 政策】

魅力にあふれ人が集う
活力あるまち
【産業・交流 政策】

自分らしく健やかに暮らせる
安心安全なまち
【健康・安心 政策】

豊かな個性を育み未来を拓く
誇りあるまち
【子ども・文教 政策】

質の高い暮らしを支える
快適なまち
【都市・交通 政策】



審査の一部を紹介します

問 第五次総合計画をどのように総括しているのか。

答 同計画に掲げた6政策については、令和元年度に行政改革推進委員会において、全体を通しておおむね達成度が高いと評価された。

また、前期および後期の基本計画に掲げた施策・取り組み等については、全体としてはおおむね順調に進捗しつつあると考えている。

問 第六次総合計画の策定に当たって、SDGsの視点を取り入れた計画とすることを掲げているが、SDGsは令和12年を目標としていることから、その達成に向けて指標を設定し、スピード感を持って取り組む必要があるのではないか。

答 SDGsの推進に当たっては、現在、SDGs推進パートナーの募集・登録等を進めており、今後、積極的かつスピード感を持って取り組んでいきたいと考えている。

なお、SDGsは国際目標であり、そのゴールについては、国レベルの取り組みを前提とした表現となっていることから、地方自治体において、指標等を設定して達成度を示すことは難しいと考えている。

問 「ゼロカーボンシティかごしまの推進」は、2050年までにCO₂の排出量を実質ゼロにするという非常に高い目標を掲げているが、施策については本市の独自性が見られない。国の支援等を待つだけでなく、各部局の施策を結びつけるなど、全庁的に取り組むことが重要ではないか。

答 環境問題の解決に当たっては、これまでも、環境局だけではなく、各部局と連携を図る中で取り組みを進めてきたが、ゼロカーボンという高い目標の達成に向けては、さらに意を用いて取り組まなければならないと考えている。今後、国の動向等も踏まえる中で、本市独自の取り組みについて、検討していきたい。

問 中心市街地におけるさらなるにぎわいの創出や回遊性の向上を図るため、回遊空間づくりの推進に取り組むこととしているが、現段階の具体的な構想等は。

答 歩行者天国の社会実験や天文館通電停前のジョイントアーケード整備への支援のほか、本市に相談がある加治屋町1番街区および東千石町12番街区の再開発が進めば、鹿児島中央駅と天文館をつなぐルート上に、新たな拠点が生まれることから、これらを結びつけることで、回遊性の向上を図ってきたい。

議案に対する各会派等の表決態度

○賛成 ×反対

議案	件名	自由民主党	公明党	社民・市民フォーラム	市民連合	日本共産党	立憲フォーラム	無所属A	無所属B	無所属C	無所属D	結果
議	▼第六次鹿児島市総合計画基本構想を定める件	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	▼令和2年度鹿児島市一般会計歳入歳出決算											認定
	▼令和2年度鹿児島市介護保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	
	▼令和2年度鹿児島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算											
	▼令和2年度鹿児島市交通事業特別会計決算について議会の認定を求める件											
	▼令和2年度鹿児島市地域下水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	
	▼令和2年度鹿児島市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算											可決及び認定
	▼令和2年度鹿児島市特別会計歳入歳出決算関係〔4件〕 〔・土地区画整理事業清算特別会計 ・中央卸売市場特別会計 ・桜島観光施設特別会計 ・母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計〕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	▼令和2年度鹿児島市病院事業特別会計決算について議会の認定を求める件											可決及び認定
	▼令和2年度鹿児島市船舶事業特別会計決算について議会の認定を求める件											
▼令和2年度鹿児島市水道事業剰余金処分についての議会の議決及び 令和2年度鹿児島市水道事業特別会計決算についての議会の認定を求める件												
▼令和2年度鹿児島市工業用水道事業剰余金処分についての議会の議決及び 令和2年度鹿児島市工業用水道事業特別会計決算についての議会の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
▼令和2年度鹿児島市公共下水道事業剰余金処分についての議会の議決及び 令和2年度鹿児島市公共下水道事業特別会計決算についての議会の認定を求める件											可決	
▼令和3年度鹿児島市一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○		
▼公の施設の指定管理者の指定に関する件〔12件 天文館図書館など27施設〕												
▼損害賠償の額の決定及び和解に関する件〔中学校における校舎施設の管理不全による負傷事故〕												
▼鹿児島市国民健康保険条例一部改正の件												
▼鹿児島市乗合自動車乗車料条例一部改正の件												
▼鹿児島市手数料条例一部改正の件												
▼鹿児島市過疎地域持続的発展計画の策定に関する件												
▼鹿児島市過疎地域工業等開発促進条例一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
▼鹿児島市公文書管理条例制定の件												
▼令和3年度鹿児島市企業会計補正予算関係〔3件〕 〔・病院事業特別会計（第1号） ・交通事業特別会計（第1号） ・船舶事業特別会計（第1号）〕												
▼令和3年度鹿児島市一般会計補正予算（第10号）												
▼令和3年度鹿児島市一般会計補正予算（第11号）												
▼固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	

会派名等	議員数	所属議員名	会派名等	議員数	所属議員名		
自由民主党	19人	西洋介 山下 要 中元かつあき 徳利こうじ	市民連合	5人	合原ちひろ 米山たいすけ 伊地知紘徳 三反園輝男		
		霜出佳寿 佐藤高広 藺田裕之 瀬戸山つよし			片平孝市		
		わきた高徳 奥山よしじろう 川越桂路 山口 健			日本共産党	3人	園 山 えり たてやま清隆 大園たつや
		古江尚子 仮屋秀一 柿元一雄 志摩れい子			立憲フォーラム	2人	向江かほり まつお晴代
		中島蔵人 平山 哲 入船攻一			無所属A	1人	小川みさ子
公明党	6人	こじま洋子 しらが郁代 松尾まこと 長浜昌三	無所属B	1人	大園盛仁		
		小森のぶたか 崎元ひろのり	無所属C	1人	のぐち英一郎		
		平山タカヒサ 中原 力 大森 忍 森山きよみ	無所属D	1人	小森こうぶん		
社民・市民フォーラム	5人	秋広正健					

議会中継をご覧ください

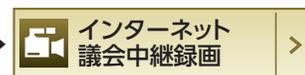
- 本会議の様様をインターネットで配信しています。リアルタイムで視聴できる「生中継（本会議中のみ配信）」と、いつでも視聴できる「録画放映」とがあり、パソコンやスマートフォン、タブレット端末で視聴できますので、ぜひ、ご覧ください。
- 録画放映は、生中継終了後4日程度（土・日曜日、休日を除く）でご覧いただけます。
- 本会議の日程については市議会ホームページでご確認ください。

市議会事務局政務調査課 ☎ 099-216-1454(直通)

<アクセス方法>

○パソコンの方

市議会トップページ →



からお進みください。



○スマートフォン、タブレット端末の方

右の二次元コードからお進みください。



※本会議中は本庁・支所の待合席等にあるモニターテレビでも配信しています。